ホッピーだより

No. 304

平成22年3月1日 (2010/3/1)

クビナガリュウ ホッピー

むかわ町立穂別博物館

054-0211　北海道勇払郡むかわ町穂別80-6　0145-45-3141
http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/

ウミガメのはなし　1　「ウミガメとは」

現生のカメは約290種います。そのうち、海に生息しているのがウミガメ（ウミガメ上科じょうか）で、わずか７種のみです。陸に生息している残りのカメのうち、完全な陸上生活をしているものはリクガメ科のみです。その他の大部分は、水陸両用生活をしています。

世界最古のカメは中生代三畳紀（２億3000万年前）から見つかっています。この頃のカメであるプロガノケリス*Proganochelys*（２億1000万年前）は、がっしりとした四肢を持ち、完全な陸上生活であったと考えられています。

カメは陸上で誕生し、その中で海へ進出したグループがウミガメです。

現在のウミガメ上科には、ウミガメ科（アオウミガメ、ヒラタウミガメ、タイマイ、アカウミガメ、ケンプヒメウミガメ、オリーブヒメウミガメ）とオサガメ科（オサガメ）がいます。この他に、絶滅したプロトステガ科（全長４mにもなるアーケロン*Archelon*など）がいました。

ウミガメの特徴には、以下のものがあります。

１．甲羅がある
２．肩甲骨が肋骨の内側にある
３．歯がない
４．四肢がヒレになっている
５．上陸して卵をうむ
６．涙腺が発達している

１ー３はカメ全般に見られる特徴、４ー６はウミガメに見られる特徴です。これから何回かにわたって、ウミガメを紹介します。

（学芸員　桜井）

穂別地区で多数発見されている化石ウミガメ、メソダーモケリス（オサガメ科）の復元骨格。奥は現生アカウミガメの骨格。（博物館展示室）

特別展「北海道アンモナイト図鑑」　開催中

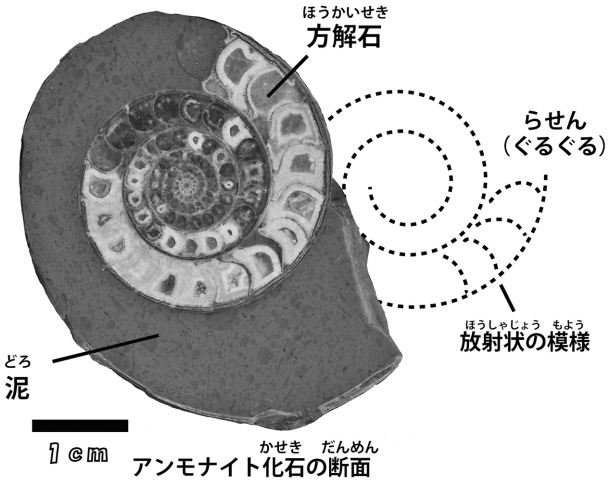
博物館特別展示室
（～5/30）

主に穂別周辺から採集された北海道産アンモナイト67種136点を展示しています。

アンモナイトの秘密　３

（前回はアンモナイトの殻が剥がれたところに奇妙な模様が見えるという話でした。）

アンモナイトの殻の内部はどのようになっているのでしょうか？殻の内部を見てみるために、アンモナイトを削ってみました。削ってみると、内側がらせん状にぐるぐると巻いていること、巻いている部分に放射状の模様があること、外側が灰色っぽいことなどが分かります。



かせき　だんめん
アンモナイト化石の断面

アンモナイトは化石になるときに殻の内部にいろいろなものが充填されます。灰色にみえる部分は泥です。内側のやや白く見える部分には方解石（ほうかいせき）という炭酸カルシウムの結晶が充填しています。では、泥や方解石を取り除いて、化石になる前のアンモナイトの殻について見てみましょう。（つづく。研磨した標本は特別展で展示しています。　普及員　西村）

学名 散歩 ３「アカウミガメ・アオウミガメ」

アカウミガメの学名は、*Caretta caretta*（カレッタ・カレッタ）です。

caretta = caret（ウミガメを意味するフランス語）。属名も種名も同じです。

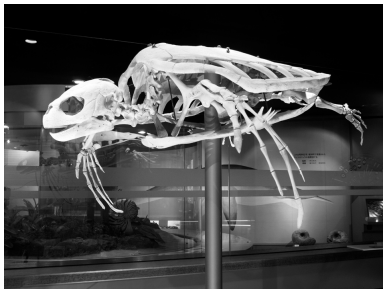
アカウミガメは、低緯度（赤道に近いあたり）を中心に世界中の海に分布しています。日本周辺では青森県以南の海で見られ、沖縄ー静岡の砂浜で産卵します。貝や甲殻類が主食です。

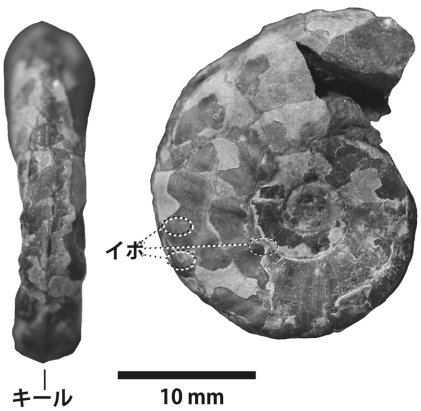
アオウミガメの学名は、*Chelonia mydas*（ケロニア・ミイダス）です。

属名：*Chelonia* = chelone（カメを意味するギリシア語）

種名：*mydas* の語源は不明ですが、 mydao（湿る）、mydion（小舟）、Midas（ギリシア神話の登場人物）など、いくつか説が考えられています。

アオウミガメも世界中の海に分布しています。アカウミガメと同じく青森県以南の海で見られ、小笠原諸島や南西諸島で産卵します。ウミガメの中で唯一、海草が主食です。（学芸員　桜井）


現生アカウミガメの骨格
（穂別博物館展示室）



むかわの化石や生き物＜穂別のアンモナイト＞
Lymaniceras planulatum
ライマニセラス・プラニュラータム

へそ付近と螺管の肩にイボを持ち、腹面にキールを持つ種類。５ｃｍほどまで成長する。チューロニアン期後期（約8900万年前）に生息。属名のライマニセラスは、1870年代に北海道全域の地質調査を行った鉱山地質学者のライマンに由来している。

（普及員　西村）

2010年　３月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■：休館日
3/1、8、15、29は通常の休館日
3/23、24は3/22の振替休館日

穂別地区では、白亜紀のウミガメ化石が数多く発見されています。２億年以上前に誕生したカメは、恐竜などとともに生きていました。約6550万年前に恐竜は絶滅しましたが、カメは現在も生きています。今年はウミガメについて紹介します。（さ）